



総合学科の創造性 地域の力に
にしめ
新志芽通信

No.021

令和7年11月27日
秋田県立西目高等学校

《1年生・産業社会と人間》

由利本荘市まちづくり宅配講座 [11月5日(水)]

由利本荘市役所移住支援課推進班から加川洋さんを講師にお迎えして、1年生90名を対象に、「空き家バンクと空き家の利活用」についてお話をいただきました。社会問題の一つとして、全国的に空き家が増加し、その空き家が老朽化し倒壊するまで放置されてしまっている状況があります。由利本荘市でも例外ではなく、空き家の増加が進んでいます。今回は、その解決に向けた取り組みとして行っている事例を、具体的に紹介してくださいました。

空き家を壊すのではなく売る方がお金もかからずに効率が良いことが分かりました。また、申請が義務化されたことによって空き家が放置されずに地域の活性化が起こることが分かった。行政が運営することで、金儲けではなく安全性が保証されているところがいいと思いました。

空き家バンクの仕組みや登録から活用までの流れを学び、地域に眠る空き家を有効に活用する方法を理解しました。実際の利活用事例を通して、空き家が新たな住まいや地域交流の拠点として再生できる可能性を実感しました。今後は地域全体で空き家対策に取り組む意識を高めていきたいです。

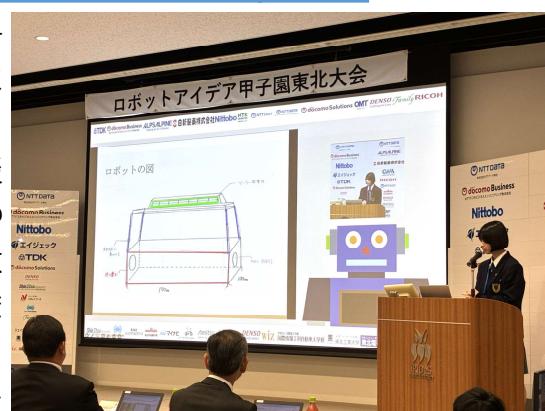


まず、空き家について何も知らなかつたので、加川さんのお話を聞いて良かったです。私が一番印象に残っているのは「行動無くしてチャンスはやってこない」ことです。使わないから、壊れているからを理由にして捨てずに、活用することを覚えておきたいです。自分がもし空き家を活用するなら、高齢者が増えているのと、デイサービスにしたいです。

《2年文理系列》

2025ロボットアイデア甲子園 東北大会 [11月8日(土)]

仙台市にある東北大学災害科学国際研究所で「ロボットアイデア甲子園」の東北大会が開催されました。東北の各県から選ばれた20名によってアイデアが競われました。本校からは、秋田県予選会を通過し、県代表として選ばれた塩形亜衣華さんが出場しました。塩形さんは、災害時に活躍する人命救助を目的とした「サポートくん」を考え、性能やどんな場面で役立つかなどをまとめて発表しました。東北大会という大舞台でも堂々とした発表を行い、特別賞の「プレゼンカ賞」を受賞しました。発表準備期間中にはインフルエンザによる学年閉鎖があったり、この東北大会が修学旅行前日の開催だったりと、たいへんなスケジュールの中での参加となりましたが、よく頑張りました。



《1年生・産業社会と人間》企業見学ツアー【11月12日(水)】

「あきたの企業魅力発見ラーニング」事業として、あきた未来創造部移住・定住促進課が主催した企業見学ツアーが実施されました。高校の早い段階から県内企業の魅力を知る機会を得て、県内定着の促進を図ること

とを目的として企画されました。1年生全員が対象で、生徒たちには3コースの中から希望のコースを選択してもらい、それぞれのコースで3つの企業を訪問しました。

Aコース(29名) 丸大機工株式会社 → 秋田マテリアル株式会社 → 由利工業株式会社



Bコース(31名) 小林工業株式会社 → 廣瀬産業株式会社 → iKEYAKUホールディングス



Cコース(30名) 長田建設株式会社 → 本荘由利森林組合 → 秋田新電元株式会社



見学ツアーをして様々な企業について知ることができました。どの企業も沢山の人と一緒に協力し合いながら取り組んでいたので、やっぱり仕事は人がいて成り立つものだと改めて実感しました。なので将来仕事についてときは人間関係を大切にしていると思います。

どの企業もお客様を第一として物事に取り組んでいるように見えました。自分が働くなら、今回見に行った企業のように人のために動くことのできる会社で働きたいなと思いました。

今回の見学で、私は誰かに喜んでもらえる、役に立てる仕事がしたいと感じた。そのためには普段から周りを見て行動したい。

どの企業も、働き方や色は違うけど、目標に向かって社員全員が一日一日を大切に過ごしているんだなと思った。楽しく働いたり、自分たちがやりたいことに向かって頑張っているのはカッコいいなと思った。

この三社を見学して、将来の進路の幅が広まりました。三社で学んだ「自分が関心を持ち、楽しく仕事ができる」ということを意識して、進路について今後考えていきたいと思います。

秋田マテリアルさんの案内してくれた方が挨拶は無料のサービスだと教えてくれたり、社会人になっても当たり前の常識になると思うので挨拶に力を入れて頑張りたいです。